

土地復興への地雷除去機の貢献

山梨日立建機が開発した地雷除去機は、いまだ世界各地に広がる地雷原を、平和で安全な土地に再生する取り組みで活躍している。カンボジアでは、かつての地雷原が農地として整備され、小学校も建設された。

真の自立に向けて

日立建機グループは、地雷除去機の開発・保守指導を行うとともに、特定非営利活動法人「豊かな大地」を全面的にサポートしている。同法人は、カンボジアの地雷除去後の土地において、農地整備や住民への農業教育、道路整備など、そこに暮らす人々の自立した生活をめざしたさまざまな支援を行っている。

バタンバン州バナナ郡にあるルセイロ村では村道が整備され、日常生活や農作業の欠かせないインフラとなっている。また、この村では、住民の要請を受けて2009年に小学校が誕生した。日立建機と、ドイツにある日立建機の販売代理店であるキーゼ社からの資金援助によって建設されたものである。

農地や道路の整備、井戸の建設による飲み水の改善など



対人地雷除去機



ルセイロ・キーゼ小学校

は、即効性のある現地の生活改善支援である。一方、教育施設づくりは、カンボジアの発展と未来を担う人材育成につながるものであり、長期的な視点からの重要な支援であると言える。このような取り組みに対し、ルセイロ・キーゼ小学校で子どもたちを受け持つノーク シノン先生からメッセージが寄せられた。

写真提供：特定非営利活動法人「豊かな大地」

内戦後のルセイロ村に残されたのは、貧しい帰還民たちと数多くの地雷でした。やがて、カンボジア王国によって元地雷原における貧困の撲滅と人的資源の活用が始まり、その計画は日立建機地雷除去機によって促進されました。現在、この小学校では、子どもたちは公式な教育プログラムで学び、村人たちと共に幸せに暮らしています。ここで学んだ子どもたちには、この国の発展に大きく貢献できるような人になってほしいと思います。そして、日立建機やキーゼ社のことを生涯忘れないでいてほしいと願っています。



ノークシノン先生